

by.海鮮堂 漫画25p+CG22p 合計47p...

「○○さん…のせいで家事して  
くれる人を募集してましたよね？」

「そんなあたしを放って他の  
女と遊びに行くんだ……！」

「言葉でちゃんと言つてよお……  
巴さんの処女買いますって……！」

# ヤバイ女性が家に 押しかけてきた話



# 小倉 巴 (29)

- ・マンションで1人暮らし。
- ・人と接しようとするといつも空回りしてしまう。
- ・周囲の人間とうまくいかない為一人で働いている。
- ・一度感情が溢れると抑えがきかなくなる性格。
- ・性格に難ありで幼い頃から友達がいない為、友人や恋人といったものに憧れている。
- ・恋人がいた経験がないため未だ処女を捨てきれていない。
- ・男性との経験はないが性欲が強い為毎日のように玩具を用いた自慰をしている。
- ・最近同じマンションのある男性が気になっている。







ヤバい女性が家に  
押し掛けてきた話



だから…我慢…  
して…下さう…!!!

それくらい…  
できます…よね…??

ポ  
ハッ

チャキッ

あれ…なんで俺…

ガッパッパッ

ガッパッパッ

こんな目に遭ってるんだっけ…

数週間前

どんपोर्ट

がチャ

えー……こと……

?

え……

……ごめんなさい……  
ですかね……??

は……初め……  
まして……

あたし……小倉巴  
つていいます……

あなたと同じこのマンションに  
住んでる者です……ふへへ……!!!

モジ

あたし……家事のお手伝い……  
しに来ちゃい……ました……!!!

〇〇さん……SNSで家事して  
くれる人を募集してましたよね?

モジ

は……え……SNS……  
昨日呟いたアレのニュー……?

いやていうかその前に  
何で俺が呟いたって  
知ってるんだ……!?!?

……

……



そうだったんですか…  
…ははは…ははは…

SNSに写真投稿  
するのやめよう…



モジ

あと…偶然にも同じマンションの  
住民だったので…案外簡単に…

モジ

ま…まあ…SNSに投稿  
されていた写真とかから…  
色々…特定して…



あのお…一応  
聞きますけど…  
俺達初対面…  
ですよ…??

ガイ

どうやって俺の  
住所や名前を…??

はい…  
一応…



あ…あの…そういう  
ことじゃなくてです…

ちゃんと…自衛の為の道具…  
持つてるので…ふへへ…

いや銃刀法違反  
まじで何なん  
だよこの人…!!

スツ



ふへ…

だ…大丈夫です…  
そこところは…  
心配しないで下さい…

ゴッ

ガサ

ガサ

やっぱり初対面の男女が  
同じ部屋に一緒というのは…  
一般常識的にちよつと…



いやいや…  
それにしても  
真に受けて  
自宅突つて…

あのお…お気持ちは  
嬉しいんですけど…

俺は有名人でも  
なんでもないぞ…  
参ったな…  
どうしよう…



その日から彼女は家事をする為  
毎日俺の部屋を訪れるようになった



始めは警戒していたが彼女はほんとにただ家事を  
こなし俺の部屋を綺麗にしてくれただけだった



は……はい……そうですね……  
人の親切は受け取っておかないと……

こうなったら隙をみて警察に連絡しよう……  
お：脅したよ……これ……  
頼むから包丁をこっちに向けな……



し……心配しないで下さい……  
別に悪い事を企んでるとか……  
そういう事  
じゃないんです……

構いません……  
よね……？

ただ純粹に……Oさんの  
家事のお手伝いができたら……  
ただそれだけなんです……

時折変な行動をすることはあったが、何かを盗まれたということも無かった

実際のところ彼女に悪気はないのだと思う

そんな毎日を繰り返す中でこの常識外れな女性……

巴さんともある程度仲が良くなっていた

## 数週間後

……え……

今度の週末の夜……

出かけるんですか……？

うん……仕事の打ち合わせがあって……

……それ……本当にお仕事なんですか……？

え……？

本当は女性の方と会う  
予定なんじゃないですか？

は……？ いやいや  
仕事ですってば……！

変ですよ……なんで  
週末の夜なんですか？

いや……その日に仕事が入  
っちゃったんだから  
しょうがないでしょ……

そもそもそんなこと巴さん  
には関係ないじゃないですか

ニッ

人ッ

というか本当にただの仕事……

やっぱりそうなんだ……  
やっぱりそうなんだ……！

あ……あたしはこんなにも……  
君に尽くしてるのに……！

そんなあたしを放って他の  
女と遊びに行くんだ……！

ビッ

アッ

こつこつおわっ……

ちよつ……と待って  
巴さん……？ 待って待って……  
危ないって……！

ブル

ブル

ブル



そうだ...  
そうだよ...

良かったんだ...  
...ふへ...

最初から...  
こうすれば...



巴...さん?

お願いだから...  
それ...おろして...?



そうだった...最近は  
大人しかったから忘れてた...!!

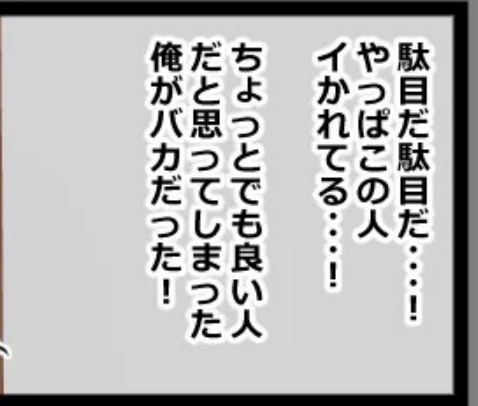
と...巴さん...  
落ち着いて...

彼女はSNSから俺の家を探し当てた人だ!  
普通じゃないって事忘れてた...!!



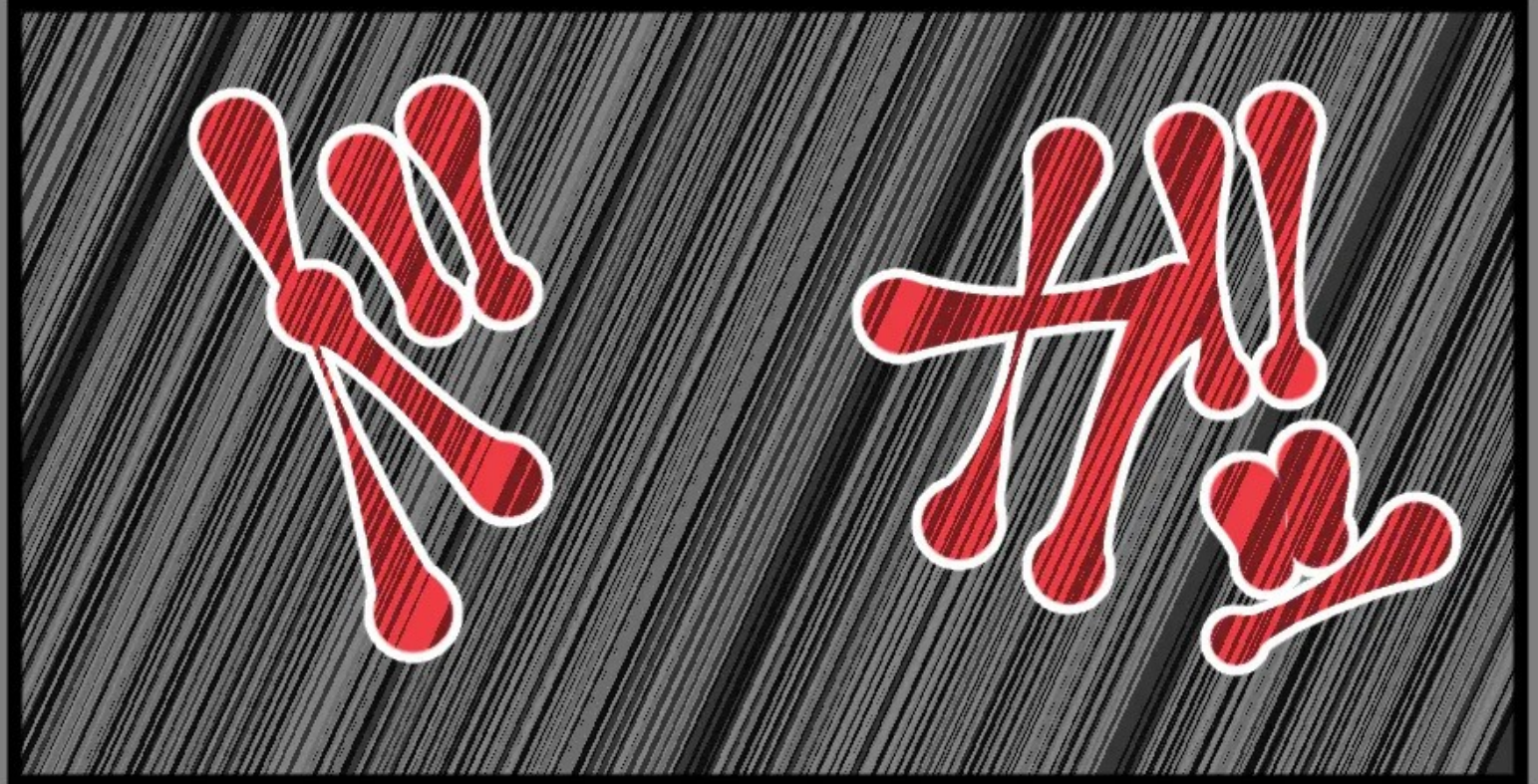
このままだと最悪  
刺されて...  
殺される...!!

な...なんとかして  
逃げて警察に...



駄目だ駄目だ...!  
やっぱこの人  
イかれてる...!!

ちよっとでも良い人  
だと思ってしまった  
俺がバカだった!





ooooooooooooooooooooん

んっ…

んっ…

んっ…

んっ…

んっ…

な…なん…だ…



この…感覚…

んむう…

こんな味…  
なんだ…

んっ…

男の人の  
ここの…

ふへへ…Hな  
味がする…

すんぐ…  
気持ちいい…



!

お…起きました…?

んふ…ご…  
ごめんなさい…

んっ…

んっ…

ちよつとだけ…強引な手を  
使わせて…もらいました…

oooooooooooooooooooo



あたしはただあなたに気持ちよくなつてほしいだけですから……

に……逃げないで下さい……刺したりしませんよお……

ガリッ



包丁……!?  
包丁……!!

うおおっ!!

ビクッ

こ……殺される!



……え……何……この状況……

……!



あ……いく……いきそう……!

でも……すげー気持ちいい……つ  
くそつ……駄目だ……  
あ……頭回らない……!



いっやほっ

何で巴さんが俺のチンコしゃぶってるんだ……!?

まったく意味が分からない……!

いっやほっ



うおおっ

なんだなんだ何なんだ……!

ガリッ

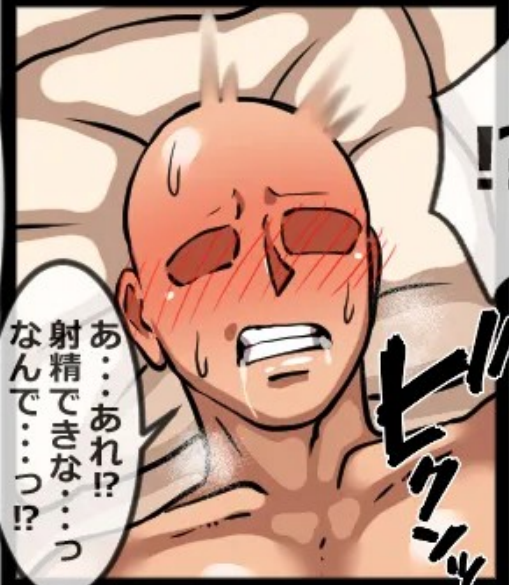
んおっ

キュルッ



あたしがいいって言うまで  
精液出しちゃ駄目です...

まだ射精しちゃ...  
////



あ...あれ!?!  
射精できな...っ  
なんで...っ!?



...!



勝手に射精しないように  
コックリング...  
着けておきますね?

くあっ...

くちゅっ♡

くちゅっ♡



ふへ...へ  
へへ...//

これであなたは自分の意志では  
射精出来ませんよお...//

あなたは今...あ...  
あたしの物...  
なんですから...//

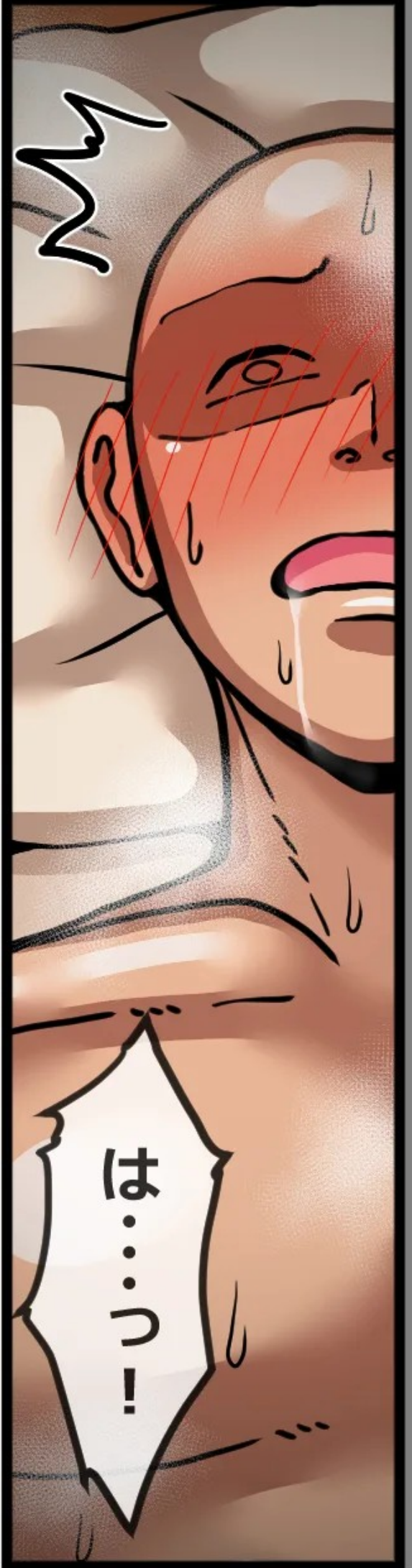
くちゅっ♡

くちゅっ♡

ふへ...//

お…思い出した…なんでこんな目に遭っているのか…

気絶している状態で…やっと思い出した…！







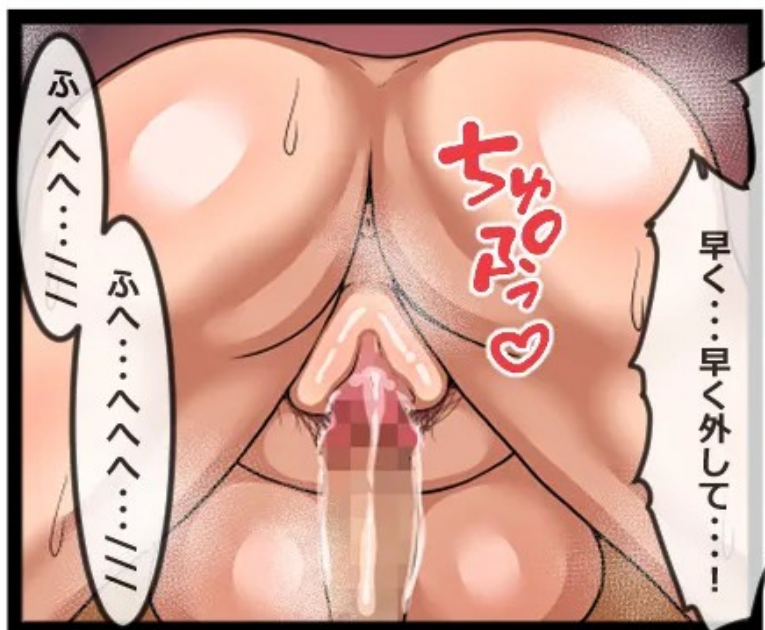


私の処女…貰って  
くれるなら……

コックリング外して…  
射精させてあげる……

ん……ん……ん……

分かった！  
分かったから！



早く……早く外して……！

ふへへへ……  
ふへへへへへ……



こ……言葉でちゃんと  
言つてよお……！  
巴さんの処女  
貰いますつて……！

と……巴さんの処女……  
貰います……から！



あ……ありがとう……  
私の行き遅れ処女……  
貰ってくれるんだね……

今……楽しんで  
あげるから……ね

ん……ん……ん……



常日頃から玩具でオナニーしてたからかな///

ふへ：初めて男の人の  
おちんちんの中に入れたのに  
全然痛くないや：///



それに：玩具と違って  
あつたかくて：気持ち...

ん...んあ...///

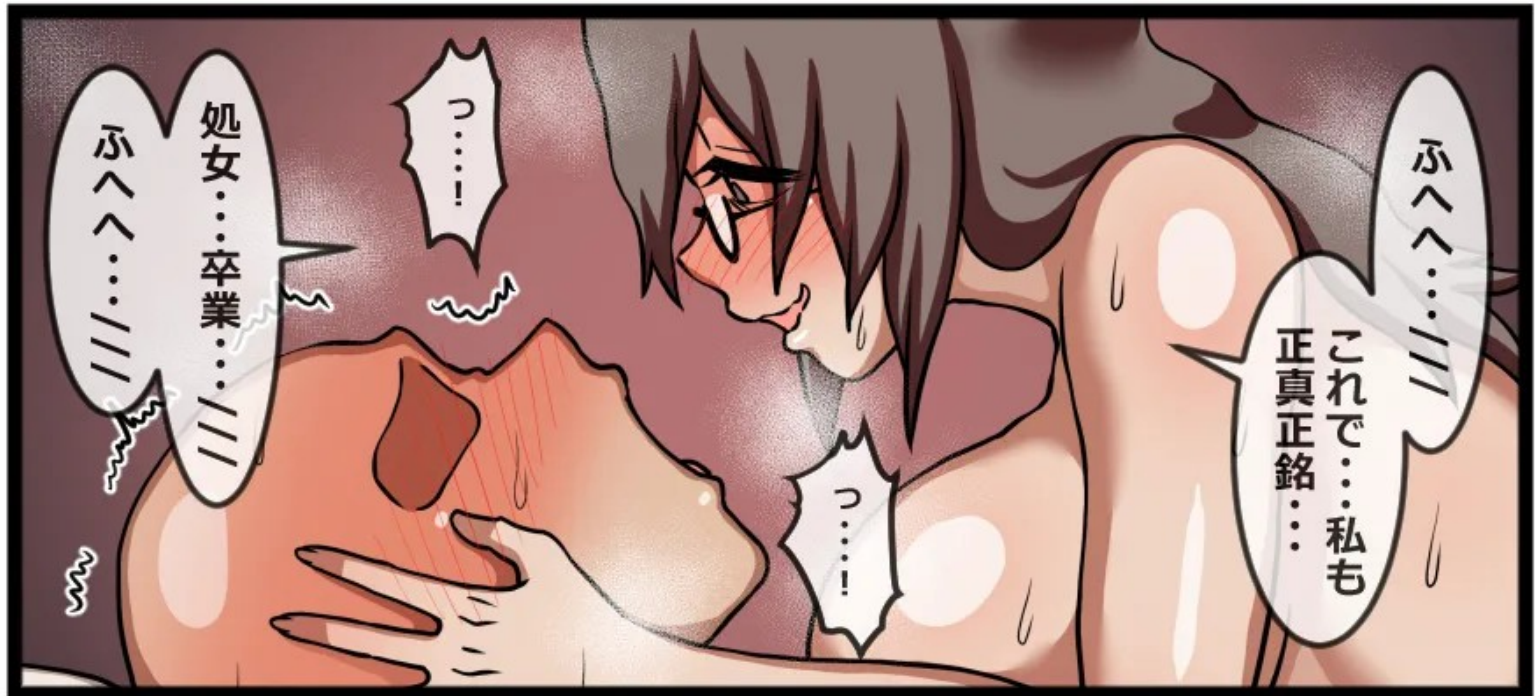
ちんすくすく...



んおっ...  
おほ...///

おほおほ

っ...!!  
っ...!!

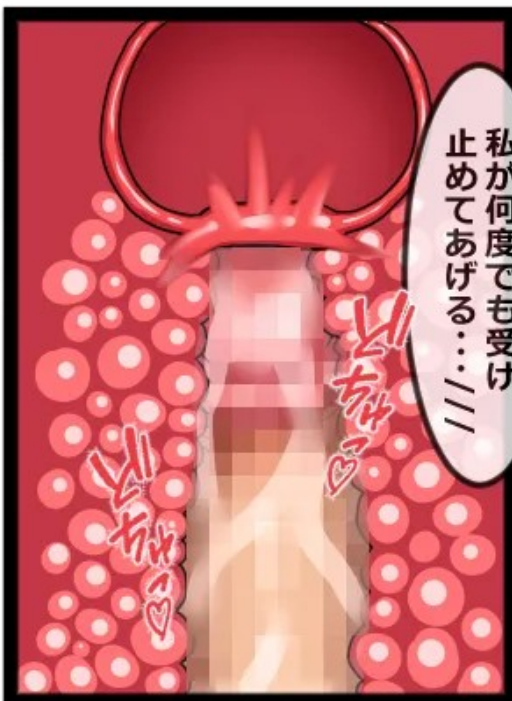


ふへへ...///  
これで：私も  
真正銘...

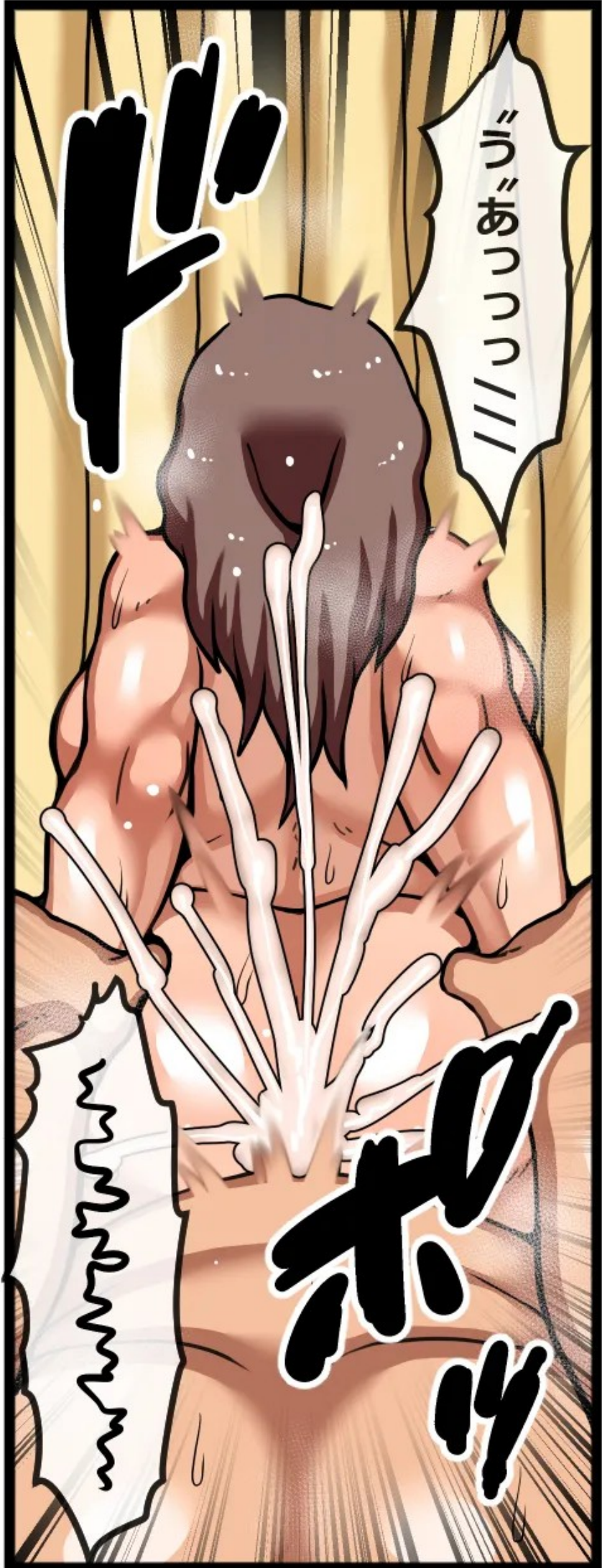
処女...卒業...///

ふへへ...///

っ...!!











ふへへ…  
やった…

やったあ…!!!

やっとこの人と  
親密な仲になれたあ

今日の出来事は  
隠しカメラで全部  
撮影してあるし…

いざとなったら  
それで脅せば…!!!



きよ…今日も…  
楽しもうね…!!!

正直な話…あの日の  
事もあってか巴さんは  
ヤバイ人だと思う…



あの日以降も巴さんは  
毎日のように家に来た

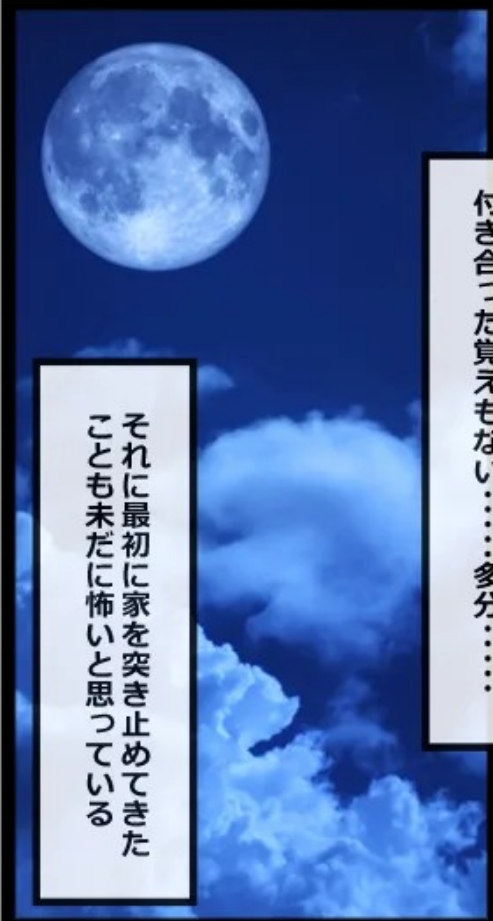
お…おはよう…

き…昨日あんな  
ことがあったのに  
今日も来た…

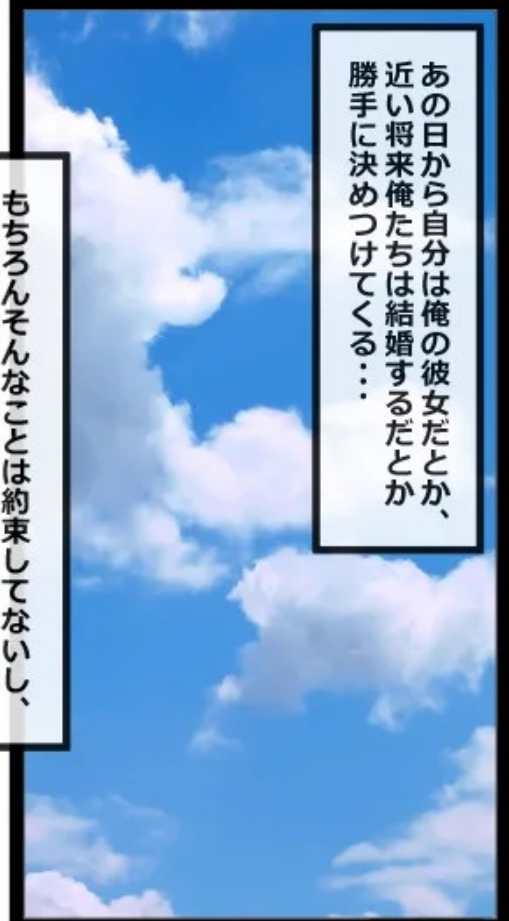
家事も以前と同じように  
こなしてくれた…が…



時折見せる病んでる顔や獲物を  
狙っているような目も怖い…けど



それに最初に家突き止めてきた  
ことも未だに怖いと思っっている



あの日から自分は俺の彼女だとか、  
近い将来俺たちは結婚するだとか  
勝手に決めつけてくる…

もちろんそんなことは約束してないし、  
付き合った覚えもない…多分…

いらいしやう…  
巴さん………

そんなヤバイ彼女に  
惹かれてる自分がいる…

罰として後でお仕置き…  
たっぷりしてあげるね…  
///

か  
チャ

またさん付けて  
呼んじやった…ね

………  
巴さん………?

自分の心が徐々に彼女に侵食  
されていることに心地よさを  
感じている事が一番怖い…

じゃなかった…  
と…巴………  
///

「なあ巴……なんで俺なの？」

「？ どういうこと……？」

「いや……自分で言うのもなんだけど……俺はただの一般人だよ？ なのに何で巴は縁もゆかりもない俺の事を……」

「……別に……理由は単純だよ……？」

「SNSを見てたら偶然私が住んでいるアパート付近の画像が流れてきてね、そのアカウントを確認したらアカウントの中の人が偶然にも私と同じマンションに住んでるって事が分かったの」



「それで面白そうだったから君の投稿するもの全部見てたんだあ……」

「は……はえ……そうだったんだ……」

「（偶然とはいえ最初から家を特定されてたんだな……）」



「それでね……同じアパートだから……君が外出した時とか……ゴミ出しをする時とか……ずっと見てたの……」

「ええ……ずっと見てたの……?」

「うん……ずっと見てた……見てたらもっと君の事が気になっ  
てきちゃって……最初はお友達からって思ってたんだけど……」

「私……友達の作り方とか……知らない……から……」

「(まあ……こんな性格してたら誰も近づいて)ならよなあ……」

「どうしたらいいのかなって考えてたら……  
君のSNSに『誰でもいいから家事してくれる人  
でもいてくれたらなあ』って投稿されて……」

「これはチャンスだって思って……来ちゃったって……感じ？」



「そ……そうだったんだ……はえ……」

「(だとしてもなんで包丁持参して初対面の人に対して包丁向けてきたんだよ……まあ自衛の為とか言ってたけど……)」

「ふへへ……でも神様には感謝しかない……かな……」

「……………?」

「だって友達の人だった私がいきなり結婚を約束した恋人をゲットできたんだから……」

「え……あ……うん……」



「そのことなんだけど……俺ってそんな約束したっけ……？」  
「あの時はもう無我夢中であんまり記憶が……」

「約束したよ？」

「……え？」

「約束したよ？」

「……」



「(ああ……)の感じやばい……)」

「(巴のスイッチいれちゃった……)」

「『巴さんの処女貰います……』の後に

『結婚を前提に恋人になる』って……」

「約束したよ?」

「……」

「は……ははは……」

「(う……嘘だ……絶対に嘘だ……)」

「約束守ってくれるよね?結婚してくれるよね?

私に赤ちゃん仕込んでくれるんだよね?」



「あの日から毎日私たちHしてるもんね？」

「あの日から毎日私たちキスしてるもんね？」

「あの日から毎日私たち一緒にいるもんね？」

「あの日から……」

「分かった！分かったから！一旦落ち着いて！」

「……………」

「分かってるって……俺は巴と結婚を前提に付き合ってるし……」

「巴のことを……その……愛してる……愛してるよ……」

「だから……落ち着いて……」

「落ち着いて下さい……お願いします（懇願）」



「……………」

「ふ…ふへ……そっかあ…愛してる…かあ」

「うん…分かってくれてるならいいんだあ」

「そうそう…大丈夫だって…」



「(今でも彼女のこういう所はかなり恐ろしいと思う…」

一度スイッチが入ると命の危機を感じてしまう程に…)」

「(こんな感じでは今まで彼女に友達や恋人ができないのも当然だ…)」

「(でもそれ以外は最高だ。。。あの病んだ状態はともかく俺の事を真剣に愛してくれているし。。。家事もできる。。。)」

「(それに性行為に関しても彼女の要望を

全て受け入れなければならぬという条件はあれど基本的にはしてほしい事を何でもしてくれる。。。)」

「(正直言って彼女を恐ろしく思う半面手放したくない。。。)」



「ねえ…もう一回言って…愛してるって…」

「ん…？ ああ…あ…愛してる…」

「ふへへ…」

「わ…私も…君の事…愛してるよ…」

「（人生何があるか分からない…」

短い期間でこんな関係になる異性と

めぐり合う事になるとは…）」





はあっ

はあっ

ピクッ

ピクッ

ピクッ

はあっ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ



アッアッ

アッアッ

アッアッ

アッアッ

はぁっ

はぁっ

はぁっ

はぁっ



「うー…駄目だ……」

「やっぱり玩具じゃ物足りない……」

「○○君のあったかいおちんちんじゃないと……」

「○○君のじゃないと気持ちよくイケない……」



「でも……○○君まだ帰って」ないし……」  
「何時に帰ってくるかも分かんないし……」

「○○君が帰ってくるまでもうちよつと……  
もうちよつとだけオナニーしてようかな……」

ぶ  
ちゅ、





アッ

うん

ク

ク

ク

ク

ク

ク

はぁっ

ぁっ

ド  
キョ  
ッ

ド  
キョ  
ッ

ド  
キョ  
ッ

んぁっ





あぁっ

あぁっ

ド  
キョ  
ッ

ピョッ

ド  
キョ  
ッ

ド  
キョ  
ッ

ガ  
キョ  
ッ

あぁっ

ガ  
キョ  
ッ



ツクツク

いーん……ん

いーん……ん

ツクツク

いーん……ん

ツクツク



はあ…

ムラ

はあ…

ムラ

はあ…

ムラ

はあ…



「……はあ……はあ……はあ……」

「○○君……早く帰ってきてくれないかな……」

「ムラムラが……全然治まんない……」

ムラ

ムラ

ムラ

ムラ

「帰ってきたら……○○君の意志関係  
無しに根」ぞき搾り取ってやる……」